

番号	領域	書名	著者名	所属等	発行年月	備考
14	療育	ことばを育てるやりとり遊び	長澤 泰子	広島大学	8.7	400
<p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばが育つ条件とは、目と耳のはたらき、ことばを発する器官（口、舌、声帯等）のはたらき、周囲の状況を分析する統合能力（認知能力、知的能力、集中力）そして、人との交わりを楽しむ心が大切です。これが言語の基礎的な装置のようなものと述べてられています。 実際に、6つの事例について、遊び方、遊びのねらい、遊びを通して変化した様子について詳しく記述しています。 詳しくは、目次をご参照ください。 						
<p>目次</p> <p>はじめに</p> <p>あそびの実際</p> <ul style="list-style-type: none"> スーパーの袋に執着していたさやちゃん (どっちにはいつてるかな) 人にふれられるのを嫌がっていた、ひろちゃん (マグネットボタンのハンバーガー) 人見知りのはげしかった、ゆうくん (宅急便ごっこ) 人との遊びより、物との遊びがすきだった、まみこちゃん (ひよこさがし) いたずらだらけだった、よっちゃん (クレヨンってなあに) ミニカーをたよりにしていた、かずちゃん (絵カード合わせ) <p>おわりに</p>						
<p>ひとこと・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> お母さんのもとより、ことばの遅れをもつこどもを扱っていることばの先生方の一読をお勧めしたい一冊です。 						
<p>このパンフのおすすめ・・・*未だ、寄せられておりません。 【よろしかったら、お読みになって「パンフのすすめ」を、図書館トップページのEメールアドレスにデータを入力してみませんか】</p>						
<p>備考 *初版はH2:年3月</p>						

